

# 女川町まちづくり ワーキンググループ 瓦版

第5号

女川町まちづくりワーキンググループの内容をお知らせします

## 第5回女川町まちづくりワーキンググループが 開催されました！



第4回に引き続き、今回も各グループで検討テーマを設定し、意見交換を行いました。

前回と同じテーマで別の内容について議論するグループもあれば、前回とは別のテーマを掲げ、改めて課題や解決策について議論するグループもありました。

検討内容だけでなく、模造紙でのまとめ方もグループ毎に特色が出て、充実したWGとなりました。

開催概要は以下のとおりです。

### 第5回 ワーキンググループ 開催概要

第5回 WG のグループワークは、まずはじめに、9月に実施する先進地視察（福島県伊達市諏訪の団地他）についての案内がありました。

その後、グループ毎に検討を行いました。今回の検討内容や進め方・まとめ方はグループ毎に考え、参加者の皆さんで工夫を凝らして整理しました。各グループの検討内容は以下のとおりです。

- 日時:平成 24 年 8 月 23 日(木)  
18:45～20:45
- 場所:女川町総合体育館  
2 階剣道場
- 参加者:38 名

グループ	テーマの設定について
公共施設・街並み	前回は踏まえて新テーマを設定
商業・観光A	新テーマを設定
商業・観光B	前回は踏まえて新テーマを設定
漁業・水産加工	前回と同じテーマを設定（続きを検討）
教育・育児	新テーマを設定
福祉・コミュニティ・交通	新テーマを設定

#### ● 当日のプログラム ●

- 1 説明
- 2 現地視察の案内
- 3 グループワーク
- 4 まとめ



女川町役場 復興推進課

〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原 316 電話:0225-54-3131(代表)

## ● 各グループの検討結果 ●

各グループの今回の検討テーマと主な検討内容は、以下のとおりです。

### 公共施設・街並み

#### 検討テーマ：公共施設の整備における基本的な考え方

【関連する検討課題】

- 交通ネットワーク
- 町立病院との関係性

【公共施設整備の基本的な考え方】

- 狭いエリアで集約化
- 子供やお年寄りにやさしい施設
- 災害に強い施設
- 港沿いの空間の活用
- 街中の公共施設の整備、施設配置
- 駅前につながる避難路

【想定される公共施設】

- 生涯教育センター
- スポーツ施設
- 勤労青少年センター
- 生涯学習センター
- ハスターミナル
- 駅ビルの上の役場

### 観光・商業 (A)

#### 検討テーマ：小乗地区の整備イメージ

- 砂浜の整備
- トレーラーハウスの設置
- 水産試験場の整備
- キャンプ場の整備
- 塩レンガのバーベキューセット
- ヨット、漁船を停泊させる
- キャンプ場から灯台に設置したガンダムが望めるといい



### 観光・商業 (B)

#### 検討テーマ：スポーツを活かした観光

【現状における課題】

- 災害公営住宅の建設により震災前のスポーツ施設がなくなる
- これまではスポーツ大会等のために来て施設を利用して帰るだけ
- スポーツ施設の敷居が高かった

【スポーツを活かした観光のあり方】

- スポーツ施設を利用しに来た人が町にお金を落とすスキームを構築
- 商業施設とスポーツ施設の融合
- スポーツ選手の宿泊施設の整備
- 新たなスポーツ(ボルダリング)を提案
- コルバトーレ女川によるフットサル大会、復興記念スポーツ大会を開催

### 漁業・水産加工

#### 検討テーマ：情報発信方法

※前回に引き続き検討

- “安全マーク”などを独自につくり、安全性などをPRする。
- 大型店から“認証マーク”などがもらえれば、強力なPRになる。
- 西日本で受け入れられないため、西日本でのPR活動も必要。
- 行政頼みでなく、町民も自ら動いていかなければならない。
- 若者や漁業・水産加工業者以外の人と意見交換が行える場を設けてほしい。

【課題】

- 人材が足りない。
- 自主検査は信憑性がないと判断される。どのように検証するかが課題。

### 教育・育児

#### 検討テーマ：学校教育において女川らしさを伝える

- 学校教育で女川の自然や文化・伝統を伝えたい  
⇒カリキュラムに自然体験などを盛り込む。  
⇒子どもへ文化の継承が必要。伝統行事を守りたい。  
⇒地域の人々が協力し、地域の人々が教える。
- おいしい給食の提供  
⇒女川の学校給食の質の高さを再確認。  
⇒女川ならではの食材を使った手作り給食を今後も続けてほしい。
- 少人数教育の継続  
⇒学校を統合しても教師の数を減らさず、これまでの教育を継続してほしい。

### 福祉・コミュニティ・交通

#### 検討テーマ：町内での移動手段

※前回に引き続き検討

【震災前の課題】

- 車道も道路も狭い
- JRは運行本数が少なく、バスは運賃が高いため、公共交通が利用しづらい。
- 災害時における高齢者や障害者の移動手段が確保されていない。

【解決策】

- 災害時にも利用できるよう、高台へと続く幹線道路を整備する。
- 車道、歩道、自転車道など区分のされた広い道路を整備する。
- バスなどの運行時刻や運賃を住民主体で決め、利用やすさの向上を図る。
- 乗り合いタクシーや電動シニアカーなどを活用する。
- 町内循環バスと町外行きのバスの相互の活用を図る。

## 第5回ワーキンググループのまとめ

グループごとにテーマを設定し、整理の方法を工夫しながら、活発な意見交換がなされました。

次回も今回と同様、グループごとに検討内容や整理の方法を考えて進めながら、提言に向けて、とりまとめの方向性を少しずつ明確にしていきます。